

令和7年度第1回小牧市立図書館選書委員会会議録

1 開催日時 令和7年8月19日（火）午後2時00分～午後3時20分

2 開催場所 公民館 4階 404学習室

3 出席委員 委員長 佐野 吾朗
副委員長 白木 泰子
委員 加藤 亜衣
" 落合 小百合
" 森川 智之
" 野地 優香里

事務局 坪井館長
花里係長
宮崎
寺西

傍聴者 0名

4 議題 (1) 選書について
(2) その他

5 会議資料 次第 選書資料（資料1・資料2）

6 議事内容

(1) 選書について

選書資料1 『樹木生活史図鑑』について

結論：可

【佐野委員長】可

購入については可でいいと思いました。写真とか図表が多くて中高生でも活用できると
思います。ただ、値段の割に装丁がソフトでどれくらい持つのかというところだけ心配
に思いました。

【加藤委員】可

私も可でいいと思いました。装丁にやや不安があるのと、(資料2の)検索ワードで調べられている3番『日本産樹木実生図譜』の貸出履歴がゼロなのに、同じようなものを購入するのもどうなのかな。あとは(資料2にある他の資料にも)貸出禁止の本があるので、この資料がどういう扱いになるのかなというところではありますが、基本的には購入は可でいいと思いました。

【落合委員】可

私も可です。大人も子どももとても見やすい図鑑だと思いますが、価格がこんなにするのだなという感じです。

【森川委員】可

こまき市民文化財団で樹木に関する講座をやるとけっこう人が来ます。とくに年配の方中心に来られるので、こういう資料を見たいと思われる方は多いのではと思われます。内容的にも色々な樹木が入っているのと、何より見やすいと思います。お値段のことは良くわからないのですが、可に丸を付けました。

【野地委員】可

私も購入は可にしました。多世代にわたって利用が出来ると思いましたし、図鑑なので他の選書資料に比べると手に取りやすいと思いました。ただ、値段が高く、図鑑を作るのに30年を要した点からみれば妥当な値段なのかなとは思いますが、少し気になりました。

【白木副委員長】可

私も可です。こういう資料は写真が暗めなことがありますが、この図鑑は鮮明で綺麗な画像であり、また、楽しめるという感覚があったのでオーソドックスでわかりやすいと思います。また、装丁がソフトだという点ですが、逆に開きやすく見やすいという気がします。

【佐野委員長】

ありがとうございます。それでは全員一致で購入可をお願いします。

選書資料2 『三島由紀夫書誌』について

結論：可

【加藤委員】可

可にしました。生誕百年の今年ならこういう分厚い資料をいれてもいいかな、文学を研究している学生が論文を書くのに大変有効だろうなと思いを馳せながら見ました。

【落合委員】不可

私は不可です。三島由紀夫が好きな方にとってはすごく貴重な本だと思うのですが、読み物のような内容ではないので、どうかなと思いました。

【森川委員】可

私は可にしました。思ったことは（加藤委員や落合委員と）同じで、三島由紀夫に関心がある方とか、研究者や学生にとっては価値ある書籍かと思います。値段は高いですが、学生には買えない値段だからこそ図書館に置いていただく意義があると思いました。

【野地委員】不可

私は不可としました。今でも人気のある作家さんですが、作品が載っているわけではなく研究に使う資料と考えたときに、どこまで活用されるのかなと思うと値段の懸念もあり不可という判断にしました。

【白木副委員長】不可（→のちに可）

私も不可です。三島文学は好きですが、もっと文学作品みたいなのが載っているかと思いきやそれを紐解くものではなくて。類本の三島由紀夫事典の方が私にとっては読みやすかったので、この資料は私ならたぶん図書館にあっても手に取らないと思ひ不可にしました。

【佐野委員長】可

確かに皆さんおっしゃるように読み手を選ぶ資料ですが、限られた方でも必要としている方にとってはとてもありがたいなということで可にしました。作品が載っているものではなくて、研究をしたり何か調べたりするときこの資料がかなり糸口になり価値があるという思いで可にしました。

意見が3対3になりました。皆さんのお話を聞いて自分の意見を変える方がいれば決まりますがいかがでしょうか。

【白木副委員長】

頑なに不要だとも言えない。

【佐野委員長】

ただ、市民の皆さん万人に必要かというところではない。

【白木副委員長】

そうですね。でも、学生自身だったら手に取れないけれど、図書館にあればというご意見ありましたよね。それを考えたらこの値段で（図書館で）買っていただいで活用すればいいかなと思います。

【佐野委員長】

逆にやはり不要だと意見を変える人はいかがですか。

【落合委員】

これは全員一致にならないと購入いただけないわけではないですよ。

【佐野委員長】

基本的には多数決で、同数の時だけ委員長が裁決に加わります。

【白木副委員長】

私は可に変更しました。

【佐野委員長】

ありがとうございます。ではぜひ市で購入し市内の学生にたくさん手に取ってもらうことを願って、委員会の中では可にしたいと思います。

選書資料3 『日本、中国・朝鮮対外交流史年表』について

結論：可

【落合委員】 不可

私は不可です。利用している人が限られるというのと、一番は字が小さくて見にくいからです。

【森川委員】 可

可です。自分は学生の時日本古代史が専攻だったので、この資料と同じ作業を必死でやりました。(自分がした作業の) 一部はスタートが文武天皇元年でこの資料より前の年代が中心だったのですが、随分と苦勞した覚えがあります。東アジアの研究をする学生にとっては非常に指針になると経験上思うし、こういう資料が昔あったら良かったらうなと思います。一般の方がどれほど関心を持つかというのはよくわかりませんが、自分の経験から言うところこういう研究をやろうとしている学生さんにとっては非常に目印になるだろうと思います。可にしました。

【野地委員】 不可

私は不可にしました。一般の意見だと思いますが、利用がどのくらいあるのかなと感じました。ただ、類本の貸出履歴を見るとそこそこあるため判断に迷うところです。一般的な年表は年号と事柄が書いてあるにはあるのですが、この資料は月日や流れが全体的に流れていく、時代が流れていくという背景がもっと見えるためとても興味深いと思います。ただ、図書館での利用という観点で考えたときちょっと心配だなと思ったので不可にしました。

【白木副委員長】 可

私は可です。まずこの資料は右開きで、縦に（見比べられるように並んでいます）。その

ためシンプルに読みやすいと思いました。また、古代の日本と中国や朝鮮の関係は意外と勉強しなきゃいけない時もあるのかなと以前から思っていましたし、私がこれをみて勉強するかはともかく、森川委員がおっしゃったように興味がある人にとっては大切な資料になる気がするので、可にしました。

【佐野委員長】可

自分はすごく迷って、不可寄りの可にしました。一つ前の資料以上に読者を選ぶという、どれだけの方が必要とされるかなということで（悩みました）。ただ、年表に落としてあるというのは森川委員が言われたように必要な人にとってはありがたいもので、作業だけでも気が遠くなるようなことがきちんとまとまっている、労力の割に意外と値段が安ということで、迷いつつ可にしました。

【白木副委員長】

そうですね、お値段安いですね。（他の資料が）ずっと3万とか2万とかだから。

【加藤委員】可

私も可にしました。私も大変興味深く見させてもらいました。一覧性があるということと、例えば去年だと大河ドラマで「光る君へ」をやっていて、（開いたページに）ちょうどその平安時代のことが載っており、“あーそうそうこの時に宋の国の人たちが”などと見ながら、そういうことがぱっと見でわかるのがいいなと思いました。

【佐野委員長】

それではこの本に関しては4対2ということで、購入可と結論づけたいと思います。

選書資料4 『奈良・平安彫刻の文化史的研究』について

結論：可

【森川委員】可

基本的に歴史ものは可ということになってしまうのですが、これも可を付けました。これも値段が高いですが、個人ではきっと買えない、古本屋に並ぶようになってもそれなりの値段もしくは下手すると上がってしまうかもしれないと考えると、予算が許すのであれば図書館に置いていただけるといいと思います。ただ、この手のものは知らないの見に来ないので、配架方法をどういうふうに担保するかで有意義に使っていただけるといいのかなと思って可にしました。

【野地委員】可

私も可にしました。仏像とか彫刻というジャンルで関心の幅はもしかしたら狭いのかなと思います。ただ、アートの視点で見る方だとか最近では御朱印をもらいに神社仏閣

をまわる方もいるので、そういうときに目に触れて興味を持たれる方も中にはいると思います。仏像の成り立ちなどもよく書かれていたので可にしました。

【白木副委員長】 不可

皆さんのお話を伺うと迷うところですが、不可にしました。理由は、この手の資料ってすでにたくさんある気がします。なので、これはどうかなということで不可にしました。

【佐野委員長】 可

自分は可にしました。資料がとてもたくさんついていて、興味深いと思いながら見ました。自分が面白いなと思ったのが一番の理由ですけれど、可にしました。

【加藤委員】 可

私も可にしました。私も大変興味深く内容を見ました。実際に神社仏閣を巡っても自分で写真が撮れないことがあるので、写真が鮮明に資料として載っているのもいいなと思いましたし、最近サブカル的に仏像にフィーチャーした資料もたくさんあるので、いいなと思って見ました。

【落合委員】 可

私も可です。内容がすごく興味深くて、ひとつの仏像についてとても詳しく書いてあったように思えて可にしました。

【佐野委員長】

ありがとうございます。多数決の結果購入可でいきたいと思います。

選書資料5 『戦前日本の選挙と政党』について

結論：可

【野地委員】 不可

どちらかという自分苦手な分野というのが一番大きいのですが、私は不可にしました。ただ、地方名や個人名が多く見られるということで興味がある方や研究に使いたい方への資料としては適切なのかなとは思いましたが、今回は不可にしました。

【白木副委員長】 可

私は可です。今は選挙などに無関心な世代がいて、私も結構わかっていないことがいっぱいあるのですが、改めてこういうのをしみじみ読むと政党の歴史や移り変わりなどが学べて、これはこれで必要なものなのかなと思いました。

【佐野委員長】 可

自分も可にしました。特に戦前に焦点を当てているものが他にないのかな、戦前だけでこれだけの本ができるのだなということで、価値のあるものだと思います。

【加藤委員】 不可（→のちに可）

これは不可にしました。履歴が全体的に少なかったりするのかなという理由です。ただ切り口は面白かったので、興味のある方には刺さる一冊だろうなどは感じました。

【落合委員】 不可

私も不可です。わかりにくいことがわかりやすく書かれているかなと期待したのですが（そうではなさそう）。また、選挙ということで一年間は見ないかなという理由です。

【森川委員】 可

この資料は比較的推しです。私はほとんどテレビを見ず、代わりにYouTube を見ているのですが、やたらと政治関係の動画、それもくだけたものから真面目なものまで掲載されています。戦前という期間限定ではあるけれど、日本の場合はそこから始まっているということもあると思うので。ネットメディアは本当に色々といいことも悪いこともウソも流れてくるので、これから政治を学んでいく人には特に、基本はこういうことなんだと読んでもらいたい一冊だと思って可にしました。

【佐野委員長】

はい。そうするとまた3対3となりました。

【加藤委員】

私は可よりの不可です。（悩んで）可。

【佐野委員長】

変えてもよいということですか？

【加藤委員】

はい。切り口はやはりすごく面白いなと思ったので可に変更します。よく読めてはいないですけど、戦前の政党しかも分裂分断ではなく団結をとというような、戦前の時代でも先人たちはそういう想いだったのかと感じられるかなと。

【佐野委員長】

やはり不可にするというのもありですからね。

【白木副委員長】

そうですね。加藤さんは、可に変えたということで。

【佐野委員長】

それでは可にしたいと思います。

選書資料6 『島世界の葬墓制 琉球・海域アジア・オセアニア』について

結論：可

【白木副委員長】可

私は可にしました。今いわゆる葬儀の世界はいろんなパターンがあって、海に撒くとか樹木葬にすると色々あり、お墓の歴史もそれはそれで大切にしなければいけないかなと思いました。かなり歴史があるということも学べたので必要な書物かなと思いました。島世界というのもまたいいですね。

【佐野委員長】可

中に資料もあって大変興味深い本だなと自分も可にしました。(選書資料に)似たような本もありますが、特に2番(『神の島の死生学』)は沖縄に特化したものであり、この資料はさらに広いくくりでまとめられているので読んでみたいなと個人的に思いました。

【加藤委員】可

私も可にしました。今日ここにある6冊のなかで私が一番興味を持った一冊です。広い海のなかで点々と存在する島なのに、たぶんどこか似た死生観を持っているとかそういう不思議もあるのかなと感じました。

【落合委員】可

私も可です。内容が身近に感じられるという、それだけです。

【森川委員】可

島に着目しての葬儀制。我々も島国に住んでいる。一度ちゃんと読んでみたいなと思いつつ惹かれることも多かったので可にしました。また値段も1万円を超えていないため、コストパフォーマンスも高いというところで可としました。

【野地委員】可

私も可にしました。どの島であろうがどの世界であろうが皆そこに向かって持っているであろう死生観とか、(白木副委員長が)先ほども言われたように日本にしても埋葬の仕方とかは多様化しているため、すごく興味を持って手に取っていただけるのではないかなと思いました。

【佐野委員長】

ではこちらについては全員一致で可ということで決定します。

それでは本日6冊検討していただきましたが、全て購入可ということでこの委員会としての結果はまとめさせていただきます。あと個人的な感想ですけど、委員の皆さん方の視点が自分にとって新鮮で勉強になりました。ありがとうございました。

それでは選書については以上で終わりとなります。

【事務局】

長時間にわたり、ご協議いただきましてありがとうございました。第2回の選書委員会は1月頃を予定しておりますので、引き続きよろしく願いいたします。これをもちまして、令和7年度第1回小牧市立図書館選書委員会を終了いたします。本日はご多忙のところご参加いただきましてありがとうございました。